

再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

朝起きてから夜寝るまで、自分の仕事と人々への奉仕が無上のたのしみで、それ以外別に娯楽の必要を感じない というのが、われわれ日本のまともな庶民の生き方ではあるまいか。

森信三先生一語千鈞より

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



第0064号

2021. 12月号

令和 参年

実践人福岡仁風読書会

現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十四 孝はまことと眞実の発現である

金以上に尊いもの

それにしても「こ」でわたくしが改めて問題にしたいと思ひますのは、戦後わが国の一般的風潮として、相当な人までが、「金」を以つてまるで人生の第一目標でもあるかに考える傾向は、さらに一段と歎かわしい現象と思わずにはいられないのであります。何となれば金というものは、たとえそれが大切であり、無視できないものだとしても、結局はこの現象界を構成している物会界の引換券ではないからです。

ではこの世の中で、金以上に大切なものはいったい何かといへば、それは改めて申しますまでもなく「人間」そのものでありましよう。それゆえ金をもうけることを以つて、人生における最高の目標であるかに考えている人は、たとえその人が如何にやり手であり、また大した手腕家であろうとも、そういう人には人生の眞の淨福というものは恵まれまいでしょう。随つてまたわたくしどもとしては、一面には親の苦勞が分り出すと共に、「この世には金銭よりもさらに貴いものがあることが分るようにならなければならぬと思つのであります。

もつとも念のために申せば、それは地位とか名誉とか、ないし権力などというものではないのでありましよう。なるほどこれらのものは、金そのものとは違ひましようが、しかし時には金とつながりをもつようになりかねないものであります。

実践人福岡仁風読書会 第60回 11月6日(土)

場所：福岡市博多区大井2丁目 大井中央公園にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

しかしこのように考えて来ますと皆さん方は、では人生における眞の尊いものは一体何か?とお尋ねになりたいでしょう。そしてそれを今「コトバ」によって皆さん方にお伝えすることなら、必ずしも出来ないわけでもないでしょう。しかし私としては、いささか考えるところがありまして、「こ」でこの点に対して直接お答えをすることは、わざと控えさせて頂きたいと思うのです。と申すのも、そうした人生の最貴の課題は、皆さん方ご自身に見つけ出して頂きたいと思うからです。でなくて、単に人から聞いて分つたという程度では、それは単に言葉で分つたというだけで、生きた眞の内容が分つたのではないからです。同時に申したいのは、「この問いに対する答えは、実はこの本を眞剣にお読みになりさえすれば、ある意味では到るところに隠されており、否、随所にちりばめられているとも申せましよう。

念のために最後にもう一度申しましよう。「この世には金以上に貴いものがある。そしてそれを突き止めるのでなければ、その人の人生は、たとえ巨万の富を蓄積しようとも、ひつきよつてついに空しい」と思つのであります。「このように、「この世における最高最貴の眞理ともいふべきものは、単に他人から「コトバ」によって教えられるべきものでは断じてない」ということは、実は古来東洋の教学においては、万古の眞理として認められ伝えられて来たところでありましよう。

しかし時代の変化と共に、「こ」つした厳しい眞理の把握の仕方は、お互いにそれに堪えられなくなつたともいえましようか。そこでわたくしも結局はやはり言葉を以つてお伝えすることにして、一応の責めを果たす外ないかと思つのであります。

退職

老子第九章に 功成り名遂げて身退くは、天の道なり。」

というのがある。功も無く名遂げたというわけではないが、若い時の教え子諸君もそれぞれの場で活躍して居るし、中牟田校に於いても、一番心配した非行的な空気も影をひそめ、学習のふん囲気も少しは軌道に乗ってきたことに自分なりの満足を感じ、しかも、校長という名をいだいて実質以上の尊敬を地元の方々や子どもたちから受けて来ていることから考えても、五十七才が一応退職の年令であれば、この機会が、身を退くに一番適当な時期であろうと、人知れず準備を始はじめていた。

最大の仕事は、講堂改築である。町財政の困難の中で、どうすれば円満に解決がつくか、本年度中にどうしても予算を計上しておいてもらわねばならないというぎりぎりの問題だった。三学期に入ってはそのことに明け暮れたが、三月の最後に至って、位置その他で多少の問題が残っていたが、一応の予算が計上されたので、やっとひと安心することができた。

又、学級減にともなって一教室が空くことになるので、卒業式後に理科教室への改造をすることにし、業者の篠原組に無理にお願いして、かねて研究しておいた通り、完全の流し場をつくってもらったが、これも三月いっぱいに出き上り、四月から完全に授業が初められるようになった。それと一しよに、準備室の関係で、これもかねての念願通り売店の移動新築をしてぎりぎりいっぱい出来上った。

県の研究委嘱校として2ヶ年を終り、来年度は本格的な発表会で報道せねばならぬのであるが、本年度、近隣の学校の全面的協力を得て中間発表会を予定していたので二月に責を果すことができ、先生方も、自信と勇気を得られたことと思う。

人事の面では、年度末の異動で栄転の予想される先生も二三あったが、私の無能のために実現までに至らないので、その先生方には申しわ

けないけれども、定員減の二名の方はそれぞれ最も適当な所に転出されたのを除いて、あとは本年度の陣容そのまま、研究を続けて、完成年度を迎えることができるのも、学校にとっては有難いことであった。本年度、先生方の研究が実のり、新校長の下で大いに成果があがった暁には、優秀な先生方がそれぞれ栄転の機会もあろうかと楽しみにして祈っている。

中途にして身を退く者の苦しみは、未来に希望をつなぎ、後任の校長に万事をお願いするほかない。まだ見えない後任校長のために、行事も施設も、人事も、できるだけの努力を続けてきたが、最後に校長室の整備が残っていた。第二回の改築の際、無理を言って、一応の形は整えてもらっていた。校長室は学校の大脳でなければならぬと思い、最高の芸術品をと心がけ、絵画は独立派の同人の足立讓先生の名画を、書は篆刻篆書の大家日展審査員の梅的梅舒適先生の扁額を頂くことができた。学校の歴史が校長室に積んであることも床しいものである。その年度の表彰状を掲げていたが、各年度の研究物を陳列しておくことが、実質的な遺産だろうと思ひ、陳列棚を依頼していたが、それもちょうど三月末に出き上がったので、六年間毎年印刷製本してきた研究紀要を並べ、折り折りの商牌を陳列した。本校の精進と栄誉が永遠に続き、益々発展する祈りをこめたつもりである。

豪華な校長室よりは、清楚ななかに何か格調の高いものを私は好む。校長室の机は、子ども心に覚えているところによれば、確か大正末期の作で、小さい質素なものであるが私で七代目で、その中に学校の歴史と伝統が秘められていると思うと限りない愛着を覚える。その愛着の机を丹念に拭き掃除し、新しい白布をかけ、座布団を新調し、椅子力パワーも換えて貰った。自分の時は、贅沢にならぬよう心がけていたが、ロッカーがなかったのをPOTでも心配してあったので、これも業者を督促して、退任前夜に間に合せてもらった。これで新校長を迎える準備も一通りは整った。その時ふと、後とりの養子を迎えるような気がした。

第41回 福岡空港ミليون清掃 11月6日(土曜日) 7名参加



「明日掃除があるよ。」

「やったー！」

娘の返事にちょっとびっくりしました。いつの間にか楽しみのひとつに、なっていたのですね。

お掃除のあとの読書会では、批判のための批判ではいけないという内容を読み、まさに体験を通して自分自身の考えや思いを感じることが大切だと思えました。今朝は寝坊してしまったのですが、遅れても参加できて良かったです。行けなかったら娘になんと言われたことか。本日もありがとうございます。

TSURUGA

真っ暗の中でお掃除をスタートしました。最初は暗くてゴミが見えないのかなと思っていたのですが、だんだん明るくなってきてもゴミはほとんど落ちていません。公園のベンチや壁などが可愛くペイントされていて、どこかの団体がゴミ拾いをしたのかもしれない。ゴミのない公園は気持ちが良い、この状態を維持できたらいいなと感じました。読書会は難しいテーマでしたが、だからこそ読みがいがあります。読むだけでは分からない内容も皆さんの感想や袈裟右衛門さんの話を聴きながら少しずつ理解が進んでいきました。今回もありがとうございました。

HIROMITSU



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第336回

博多駅 早朝清掃

毎月8日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

ハウスメイト



第336回 博多駅早朝清掃

満28年達成

11月8日(月曜日)

124名参加



博多駅 駅長



初めての道具で初めてのどぶさらいでしたが、先輩に教えていただき底に沈んだ汚泥をしっかりと取り除くことができました。先月のやり残しができてすっきりです。

今回は落ち葉が多く、全く今までと違うお掃除に季節が変わっていることを実感しました。

ありがとうございました。

TSURUGA

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

11月13日(土曜日)



今月の酒殿駅のトイレ磨きは夜が明けきらないうちよりのスタートでした。辺りは真っ暗闇、光と言えばブラットホームとトイレを照らす灯りのみピンと張りつめた空気感。そのような中辺りの静けさ、暗闇をも吹き飛ばして下さったのは仲間の皆さんの弾んだ会話、笑い声でした。笑い有り！の中での今月の一番の学びは改めて袈裟右衛門さんに次に使われる方のために！の気持ちを教えて頂いた事でした。私の中に、意識が入り今月は、より丁寧に気持ちを込めて便器と向き合う時間を頂けました。まさに…早朝清爽の名前のように早朝より心も清々しく爽やかな気持ちになれたひとときでした。皆さま今月も有難うございました。

JUNJUN

今回は掃除に遅れてしまいました。朝の挨拶もままならず慌てている私に「では、こちらをお願いします。」と、静かに声をかけてくれた井さんはじめ、空気のように自然体で受け入れてくれる皆さんの雰囲気、おもてなしの心の本質を感じました。掃除が終わり、道具を片付ける際は、いつでも誰でも、すぐに使えるようにと、綺麗に整理整頓されていく様子を見ていて、『和を以ってて尊しとなす』という言葉が頭に浮かびました。日本人が大切にしてきた道徳心を、日常の行動に落とし込めるよう、引き続き「掃除道」を学ばせていただきたいと思いました。いつもありがとうございます。

MARIMARI

今日はトイレ掃除が始まる前に酒殿駅周辺のゴミ拾いをし、中にある道具を外に出し、蛍光灯を吹いて、窓を取り外しました。私が初めてトイレ掃除に参加した時は準備が整い、綺麗に道具が並べられていました。いざ自分が準備からやると何から始めたら良いのか戸惑いますが、実践から沢山の学びがあります。事前準備の大切さを感じました。いつもトイレ掃除は身が引き締まります。また、今日も笑いが絶えず楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。

MEGUMI

今日はトイレの窓を全て取り外して掃除をしました。遮るものがなくなると外の光がたくさん入ってきて明るく感じます。今日は自分は便器磨きはしていませんが、皆さまが座って磨いている姿を見て美しさを感じました。皆さまと明るく楽しく掃除ができて、今日も清々しい一日の始まりとなりました。ありがとうございます。

HIROMITSU

6:30はまだ薄暗く、たったひと月の違いに季節の移ろいを感じました。袈裟右衛門さんの声から皆さんの笑い声が広がり、無人駅とは思えない雰囲気でした！掃除の代行などをご指導頂き、まだまだ伸び代たっぷりの自分であるために素直に謙虚にしなければと感じました。ありがとうございます！

酒殿駅世話人 TAHARA



新飯塚駅早朝清掃／いづか明星寺団地自治会

11月20日(土曜日)



新飯塚駅清掃は2回目でしたが、前回の清掃の時よりもゴミが断然少なくなっていました。なので今回は「徹底」をテーマに、普段は見過ごしてしまう様な本当に小さなゴミも全て拾いました。そうすると、拾い歩いた範囲は狭くなりましたが、いつもとは違った清々しさを感じ、充実した時間となりました。また、今回は暗くてゴミも少なかったにもかかわらず、参加されている皆様はたくさんゴミを拾っており、やっぱり凄いなと思いました。

HIROMITSU

夜明け前の飯塚駅は、シーンと静まり返った中、時折聞こえるカラスの声が不思議と明るく響いていました。そんな明るい声を聞きながら、暗がりの中でキラリと光ゴミ探しは楽しいものです。「見つけた!」と思い、近寄ってみると落ち葉であることに残念がったりしながらも、袋の中に貯まるゴミを見てはニンマリしている自分に幸せを感じずにはられません♡置き去りにされたゴミも喜び、拾った自分もハッピーで、地域が美しくなる、この『三方よし』はやはりやめられませんね～(^ ^)♪

MARIMARI



おはようございます。昨日は新飯塚駅前早朝清掃にお越し下さいまして、ありがとうございました。皆様のお蔭をもちまして、早朝清掃も今回で41回を数えました。継続は力なりでこれからも清々しい朝を迎える為、お掃除を続けて参ります。よろしく申し上げます。感謝。

KOIKE



令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

11月27日(土曜日) 第23回



体も心も浄化される、澄んだ空気が漂う戒壇院は、見事な紅葉に囲まれていました。夜が明ける時間の経過とともに、いろいろな顔を見せてくれるもみじの葉。一つとして同じものがない葉っぱたちが、思い思いにくっつきあって、美しいコントラストを醸し出しています。同じ色が重なることで、より深く。異なる色が寄り添うことで、より広く。互いに違いを認め合い、まさに統合された世界でした。

はて、そういえば、掃除に集まった方々も、非常に個性豊かな方ばかり、良いあんばいに輝きあっている様子にも、統合の世界を感じました。

掃除をしながら、自然を堪能させていただけるこの環境には感謝しかありません。いつもありがとうございます。

MARIMARI



遊休農地再生楽交の活動報告

NPO法人 楽農人

●2021.11.06 「鞍手町Kふぁーむ」 ニンニクへバイオ散布



バイオを散布し微生物の活性を促します！

約1万個のニンニク一つひとつへ散布しました！

●2021.11.07 「楽農人啓恵ふぁーむ」 ニンニクへバイオ散布



翌日、約8千個のニンニクへ散布しました！

散布完了！微生物さんの活躍に期待です！



農友さんがお手伝い^^草刈り綺麗に出来ました♪



農友さんの畝に看板設置♪「幸せファーム」

●2021.11.12 「楽農人啓恵ふぁーむ」
大雨で水が溜まる



耕作1年目の「啓恵ふぁーむ」はよく水が溜まります
今後の土壌改良でどう変化していくのか観察します

●2021.11.19～20 「楽農人恵堤農場」
今年最後のさつまいも掘り



芋蔓を刈り払い機で切っていきます！



掘り起こした芋を集めていきます！
こんなに芋を掘るのは初めての体験でした！



立派なさつまいもに育ちました♪

●2021.11.23 日帰りで初の鹿児島へ



発送用に芋を選定しながら箱詰め作業です！



楽農人の代名詞「大楠」を間近で見
感動しました！

生命の林と人生 六一、木の復権Ⅲ

021-11

光然京カルデラ

対談 進行Ⅱ高瀬 町長Ⅱ宮崎 建築家Ⅱ葉

葉「何に苦労したのか」というと、行政とか法律のあり方ですね。建築基準法も、また同法を悪物にしたような林野庁の考え方も、両方とも、納得できない。建設省も林野庁も、さらには文部省も責任を痛感すべきだ。

立体トラスは人の手の結びあい

宮崎「結局、法律が一番影響の大きいところからできていく。建築基準法の場合、不燃等を目的にした刃の構造が主体で、木造は付け足しになっている。2×4関係の法律は大企業や住宅メーカーの影響でできたり、その後のログハウスは外国の圧力。だから、自分達で影響を与えていかないと、自分達の考え方や行動にあった法律はできていかない。考えてみれば当たり前のことですけどね。

葉「我々が申請した時、2×4とか集成材という外圧があり、体育会もなんで集成材でやらないか」という理由で受け付けてもらえなかった。だから 集成材は小国にはありません。間伐材ならどこの家にもあるし、6000軒が一本づつ持ち寄れば、6000本集まる。それで造るんではないですか。逆で、逆でコミュニケーションの復活がそこに感じられたのでしよう。逆にコミュニケーションがバラバラになった理由が、そこにある。木造建築の接合部に関する技術は大工さんの手であって、建築家の手の中にはない。木構造でやろうとすると、接合部の設計や構造計算ができなければなりません。構造計算ができるような接合部がなかった。

我々がエポキシ樹脂加圧注入技術を考案して、初めて可能になったのです。立体トラスは最初、構造を担当してもらった森川さんを通して、その師匠の松井源吾先生に相談した。先生は、Oアレクサンダー設計の盛進学園の構造を担当されていた。あと、そこで、大規模木造をやられていることが、ひとつのステップだった。人も揃っていた。終わってみてわかったことは、立体トラスは間伐材、小口径心持ち材にぴったりの構法だった。それから金物もトンドン小さくなった。つまり、いくつもの幸運が重なって、細かい材料をつなげば太い木と同じ位に強くなるのでは、という私の夢が叶いました。

新しい住民も木に配慮

宮崎「1986年に小国で、全国山おこしシンポジウムをやったんですが、同じ頃、建築学会のシンポジウムもあった。その中で、行政がなぜそこまでやるのか」という声が出た。その時、行政がやらないと、製材所も大工さんもできない。資金的にも人材的にも無理。だから、やりました」と答えた。

そついう取り組みを続けて起こしていけば、山村の産業も時代にあった活動を展開し、街の外にも活動が広がっていく可能性が出てくる。その活動を起こさなければならぬ。

葉「スギトピア小国」という祭りは楽しいですね。私が小国に関わり始めた頃、町民の皆さんの手で組み立てられるようにとドームやステージを考案して、何回でも使えるようにした。

宮崎「今思えば、懐かしいことがたくさんありますね。それが縁で、ピアニストの斎藤さんは熊本城内で、「愛は地球を救う」というコンサートをやった。木製トラスのステージの上で半円のドームをかけ、テントを張り、地球をシンボライズさせた。非常に気に入ってくれて、今度は小国ドームで録音したいということになりました。葉「シンボリックな話ですね。小国の人達も、あの手作りドームの経験があったから、小国ドームを実感できたのでしようね。

高瀬「小から初めてみた人は、ゆうステーションを木造と思わないのでは。葉「それによって、木造の概念がヒっくり返る。強烈なインパクトですね。

宮崎「今は訪れる若い女性グループも多いし、国道212号線沿いですので、小国での待ち合わせにもなっているようですよ。

地域づくりで忘れてならないのは、住んでいる町民のためにやっているということ。町民とのつながりをずっと考え続けなければならない。小国では全て町民を関係のある施設です。

次回(続く)

一九九一年一〇月一日発行

発行所(株)デルファイ研究所 取材 構成 一文

「木の文化」を創る人々熊本県小国の場合 高瀬隆三郎

二〇二二年十一月二二日

広葉の林を育てる会 興膳丈治



	12月の活動予定表								1月の活動予定表			
日	4	4	8	8	11	11	18	25	8	15	15	22
曜	土	土	水	水	土	土	土	土	水	土	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第43回	福岡実践人仁風読書会 60回	博多駅早朝清掃 第336回	株式会社SRC掃除研修 (関係者のみ)	JR酒殿駅早朝清掃 第12回	株式会社SRC掃除研修 (関係者のみ)	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第24回	博多駅早朝清掃 第337回	JR酒殿駅早朝清掃 第13回	冷泉公園早朝清掃 第1回	令和を巡る早朝清掃 第25回
場所	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	株式会社SRC	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	福岡県飯塚市飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	福岡県太宰府市 戒壇院
開始時刻	6時	7時	6時15分	10時30分	6時30分	9時	6時30分	6時30分	6時15分	6時30分	9時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	福岡清爽クラブ	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

編集人：井 恵 補佐：富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
- ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
- ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》
 TEL 092-931-8155 (掃除) 931-8150 (読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)
 kesa@rakunoujin.com (農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。